

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	平野区
学校名	大阪市立長吉小学校
学校長名	望月 幹雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・長吉小学校では、第6学年 74名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は55%で、全国平均正答率と比べて12.7ポイント下回り、大阪市の平均正答率より11ポイント下回る結果となった。算数科の平均正答率は58%で、全国平均正答率と比べて5.5ポイント下回り、大阪市の平均正答率より5ポイント下回る結果となった。算数科については、昨年度より大幅に改善されたが、国語科については横ばいであった。

また、平均無回答率国語科で4.8%で全国の平均無回答率4.2%、算数科の平均無回答率は3.3%で全国の平均無回答率3.4%とどちらもあまり変わらない結果となった。無回答率に関しては国語科算数科ともに昨年度より大きく改善された。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

すべての領域において、全国平均正答率と比べて下回っているが、「言葉の特徴」と「書く」領域においては昨年度より大幅に改善されている。昨年度、大阪市総合教育センターよりスクールアドバイザーを講師として招聘し、学力向上研修を全教員で受講した。その際、文章を要約する指導法について研修し、全学年で実態に応じて取り入れるようにしててきた成果が表れたと考える。一方で、「情報の扱い方」領域においては、大きく差が開く結果となった。説明文教材を活用して、情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句との関係の表し方を理解し使うことのできる能力の育成が必要である。今年度は、5年生においてブロック化予算を活用し、小学生用デジタル新聞を授業や家庭学習に取り入れたり、リーディングスキルテストを実施したりすることで更なる学力向上に取り組んでいきたい。

### 〔算数〕

すべての領域において、全国平均正答率と比べて下回っているが、昨年度と比較すると「変化と関係」領域以外において10ポイント以上改善された。問題形式においても「選択式」「短答式」「記述式」いずれにおいても改善されており、特に「記述式」においては15ポイント以上だった。4年生時より、毎時間習熟度別少人数指導で細やかな指導を重ねてきた成果が表れたと思われる。今後も、様々な学習形態を取り入れながら、よりよい学びとなるよう取り組みを進めていきたい。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童は25.8%で、大阪市や全国平均と比較すると、かなり低い割合になっている。「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が4人に1人おり、調査対象児童にとって、学校が楽しい場となれていないところは大きな反省点といえる。また、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童は21%で、大阪市や全国平均を大きく下回った。本校の児童の課題として毎年自己肯定感の低さを挙げ、その解消に向けて取り組みをしてきてはいるが、今年度も同じ結果となってしまった。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童は88.7%で、全国や大阪市の平均と比較すると高い割合になった。低学年の頃より毎月いじめアンケートを行い、そこで訴えのあったことに関しては担任より丁寧に聞き取り・指導を行ってきている。また、「いじめについて考える日」には、高学年児童を中心にいじめをなくすよう全校児童に呼びかけ、スローガンを考え玄関に掲示するなど年間を通して意識させてきた結果といえる。

今後も、安心できる集団の育成と、学級や学年の友だちと協力して達成感や自己有用感を味わわせることでより良い学校生活を送れるようにしていきたい。

## 今後の取組(アクションプラン)

令和3年度から「生活科・総合的な学習の時間」を研究教科として、3年間取り組んできた。その中で、探究的な活動を進めるにあたり、手に入れた資料を分析する力や調べたことを表現する力が大切であること、そのためには国語科・算数科の各領域の学習内容をしっかりと定着させることが必要であることが見えてきた。今年度からは、国語科を研究教科として「読み取り」に焦点を当てた。スクールアドバイザーの指導のもと、各学年で説明文や物語文の「読み」の単元に力を入れて研究授業を行い、指導法の研究を行っている。また、深い「読み」ができるよう、語彙力を高める活動・読書活動の充実・視写をどの学年でも取り入れ、学校全体で進めてきている。

今後も引き続き国語科の指導法を研究していくとともに、確かな学力をつけるためにも、算数の学力を伸ばすことも併せて行っていく。基礎基本の定着にむけて、朝の学習の時間を活用しデジタルドリルやプリント学習に力を入れるとともに、課題解決に向けて自分の考え伝え合うことのできる児童を育てる。

## 【 全体の概要 】

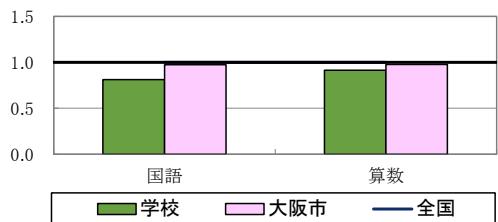
**平均正答率 (%)**

	国語	算数
学校	55	58
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

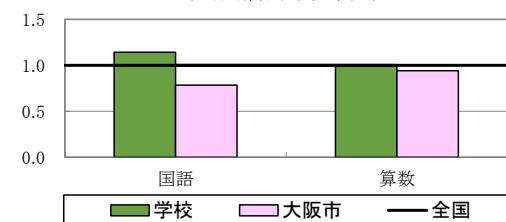
**平均無解答率 (%)**

	国語	算数
学校	4.8	3.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



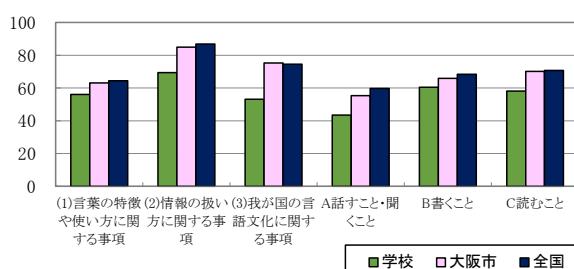
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	56.0	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	69.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	53.2	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	43.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	60.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	58.1	70.1	70.7

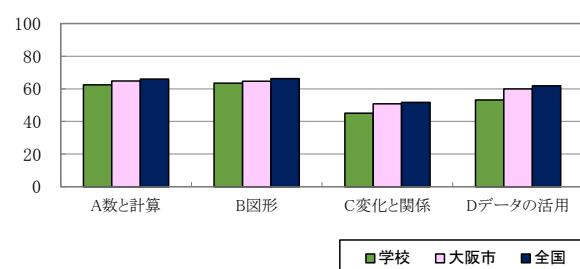
## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	62.4	64.8	66.0
B 図形	4	63.5	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	45.0	50.8	51.7
D データの活用	4	53.2	60.0	61.8

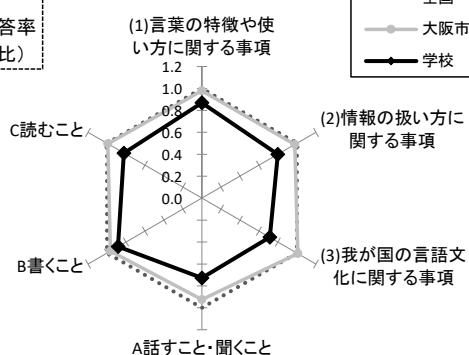
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



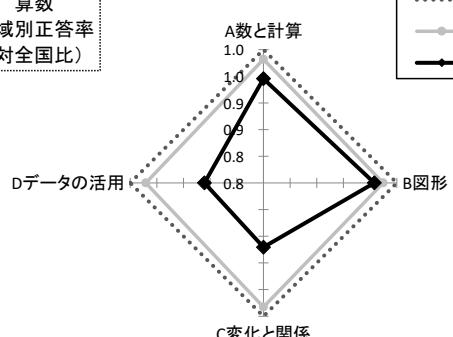
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



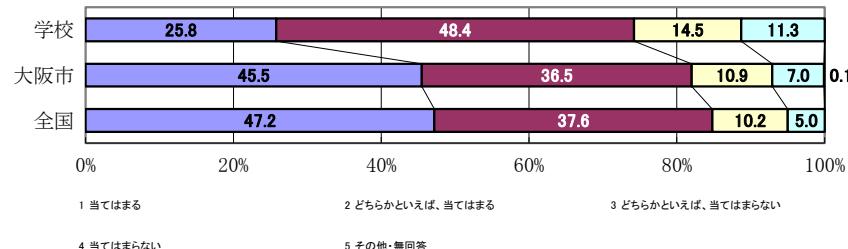
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

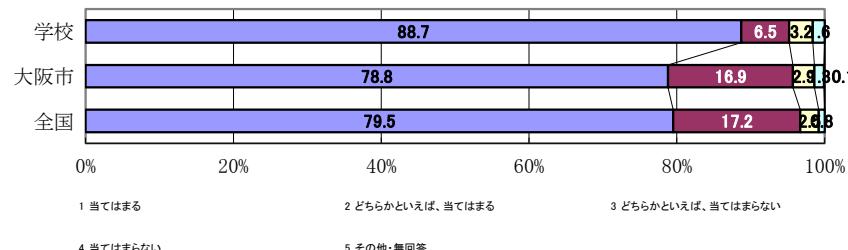
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



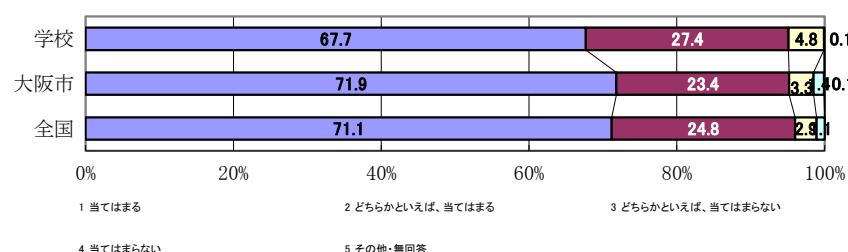
13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



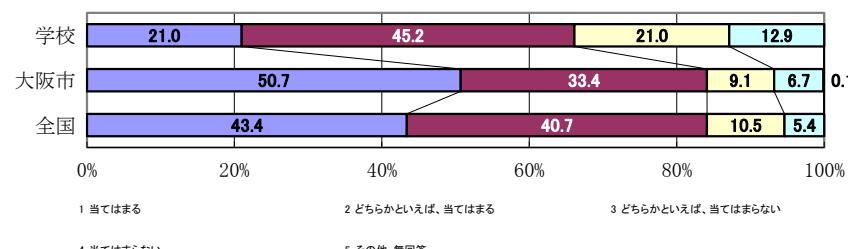
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



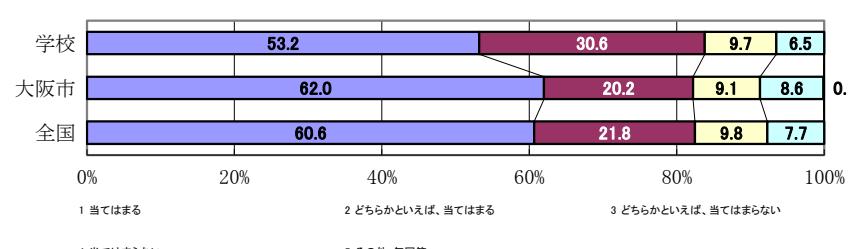
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



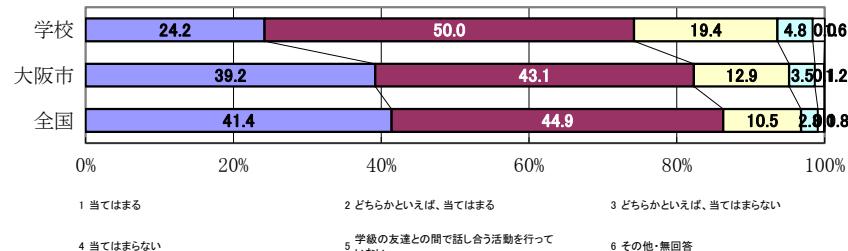
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号  
質問事項

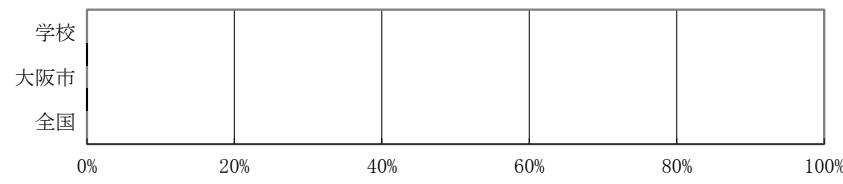
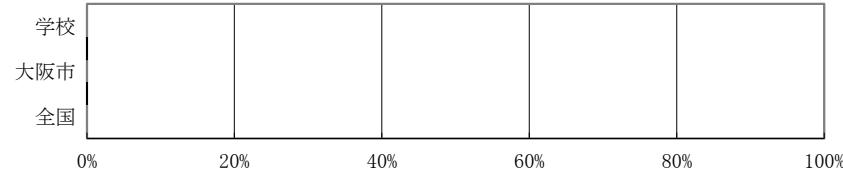
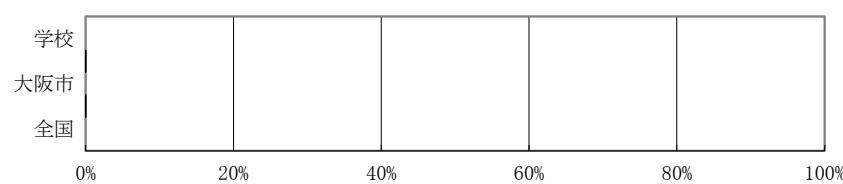
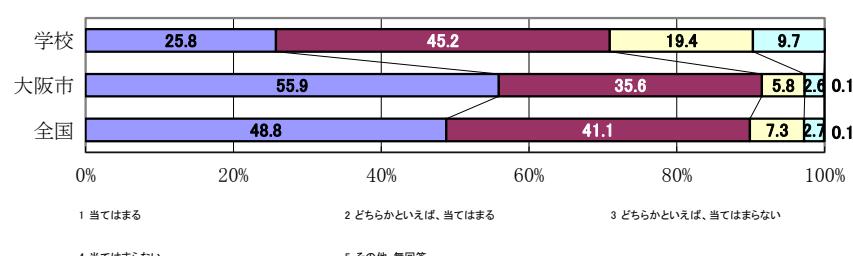
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



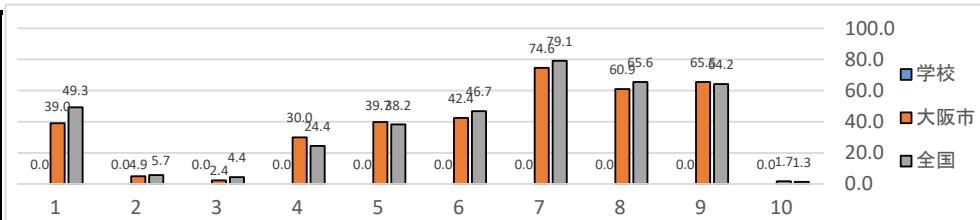
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



## 児童質問より(26)

質問番号
質問事項
<b>26</b>
放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか (複数選択)



1 家で勉強や読書をしている 2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している 3 地域の活動に参加している(地域学  
校協働本部や地域住民などによる  
学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で  
勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を  
除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事  
を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲーム  
をしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない

## 学校質問より

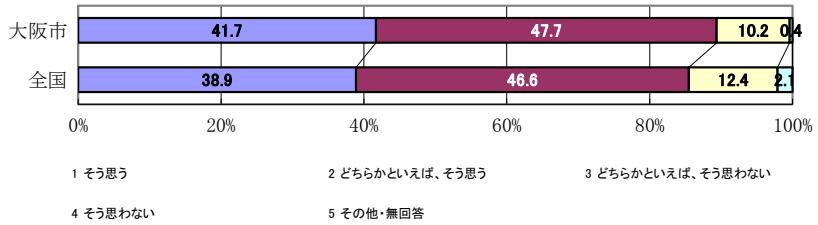
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ちていると思いますか

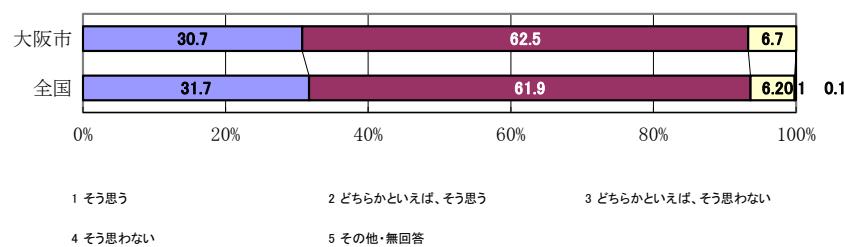
### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

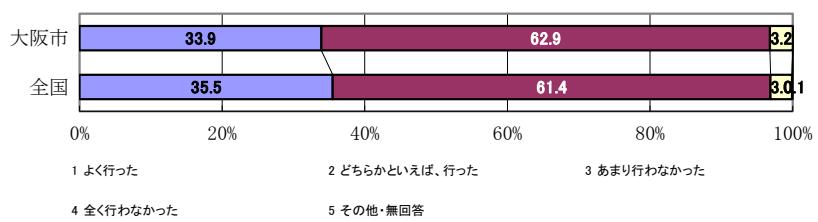
### 学校 「そう思う」を選択



44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えで読むことができるような指導を行いましたか

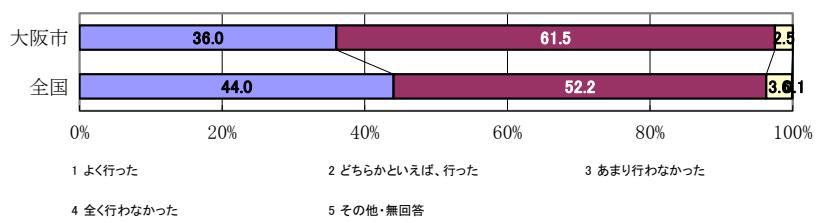
### 学校 「よく行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

### 学校 「よく行った」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

### 学校 「ほぼ毎日」を選択

